

糸魚川大火を受けて

問 消防団員が負傷している。団員の安全確保のためにゴーグルやマスク等の装備品の検討はしたか。

答 消防本部では、目を保護するゴーグルなどの資料を取り寄せ検討を行っている。防塵マスクは平成16年の水害以降、装着している。



消防団の活動

性暴力被害について

問 性犯罪、性暴力被害に対するどのような相談体制を取っているか。

答 相談体制については、若者は青少年相談、配偶者間の場合は女性相談、高齢者の場合は地域包括支援センター、広く市民の相談窓口としては市民なんでも相談室で対応している。

問 性暴力被害者支援センターの情報をごどのように広報しているのか。

答 昨年12月に県が新潟市に相談窓口を開設した。積極的に紹介するとともに、広報紙等で周知しセンターと連携していきたい。

人工透析について

問 県央基幹病院の開設に伴い、現在の厚生連三条総合病院の人工透析施設はどうなるのか。

答 昨年7月の県央基幹病院整備基本計画に外来や人工透析施設は、県と厚生連で検討していくとある。今年、県央医療圏人工透析の在り方について、県主導で検討を開始した。

三条市水道事業ビジョンの取り組みについて



大崎浄水場

問 中期計画を引き継ぐ基本計画として策定したが、人口が10万人を割り、今後の給水人口や需要の見直しはどうか。

答 給水人口は、平成5年の11万1039人をピークに減少している。今年度末には10万人を割ると想定している。今後も需要の減少傾向は続く。さらなる経営の効率化を進めたいと考える。

問 更新費用の平準化をどう考えるのか。

高齢者対策について

問 平成29年度の取り組みをお聞きしたい。

答 高齢者の外出促進、活躍の場の提供を考えている。平成29年度は有償ボランティア事業の創設、地域包括ケアシステムの構築、高齢者実態調査等。

インバウンド対策強化を

問 東京オリパラに向けて三条鍛冶道場を伝統技術の継承やPR施設としてだけでなく、体験観光の拠点とも位置付けるべきだ。合わせ鋼による刃物作りは、日本独自のもので貴重な体験となる。半日、1日、3日、1週間などさまざまなコースを設け、外国語も話せるスタッフの充実を図るべきだ。弥彦や湯田上などの温泉地とも連携すべきではないか。

答 鍛冶道場における新たな体験コースの提供は、観光面での拠点としての役割も果たす施設整備につながるから平成29年

答 施設の適正な維持管理と計画的な更新を進める必要がある。この数年で膨大な費用を要する中、現実的な耐用年数を把握しながら事業費の平準化を図っている。

問 将来的に大崎浄水場をどのように考えているのか。

答 施設規模を縮小した上で、災害時における予備浄水施設として位置付けていきたいと考える。

障害者差別解消法の取り組みについて

問 昨年4月の施行後、これまでの取り組みはどうか。

答 法の周知、啓発としてポスター、リーフレットを各庁舎に配置した。平成28年度新規採用職員41人を対象に、実地研修の一環として法の説明を行っている。

生活保護世帯と国民年金受給世帯の生活困窮の現実と問題点について

問 生活保護世帯と合わせて市内小中学生7488人中、就学援助制度の認定を受けている児童生

度に取り組んでいきたい。通知提供などの検討も進めたい。

県と市町村の役割分担を

問 泉田県政から米山県政に代わったことを機に、県と市町村の役割について住民サービスの向上と行政の合理化、効率化の観点から抜本的に見直し、整理すべきではないか。

答 まず、知事と市町村長が大枠について意見交換し、それぞれの事務について方向性を示していくことが重要。今後、定期的に懇談会を開くことになっていくので、役割分担について模索していきたい。

三条小学校廃校に伴う準備状況は？

問 特別支援教育の拠点校機能も裏館小学校に引き継ぐことになるが、防音設備を含め改修は終了したか。

答 職員の実習室を聞こえの教室に、体育館前の部屋を間仕切り、防音カーテンで整備した。今後の

三条市の環境汚染について

問 木質バイオマス施設稼働に伴う不安と対策についてお聞きする。

答 地下水取水の地盤沈下は、事業者で影響調査を実施し影響はない。土地売買時に協定書を締結。事業者は大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭の関係法令遵守。県は生活環境保全条例で監視する。

問 笠堀と大谷のダムの放射能汚染について調べているか。

答 環境省では、新潟県はモニタリング調査は対象外としている。

嵐南小学校・第一中学校プール不具合について

問 プロポーザル方式というのは、設計業者とヒアリングをやることとが大切。ヒアリングをやることと業者と共同体となり、設計ミスは存在しない。訴訟して勝ち目はありますか。

答 司法の判断に委ねる。答弁は控える。訴状内容は総務文教常任委員協議会で説明したい。